

会 議 記 録 （１）

会議名称	令和元年度第２回北本市地域包括支援センター運営協議会
開催及び 開催日時	令和元年１０月２９日（火） 午後１時３０分～午後３時
開催場所	北本市役所 ３－Ｂ会議室
議長氏名	矢澤 聡
出席委員 （者） 氏名	矢澤 聡 （桶川北本伊奈地区医師会） 畠山 克己 （北本市民生委員・児童委員協議会） 石田 信之（成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部） 小金沢 泰男（北本市民） 坂田 拓實 （北本市民） 根岸 光雅 （北足立歯科医師会） 馬場 義雄 （北本市自治会連合会）
欠席委員 （者） 氏名	遠藤 真理子（居宅介護支援事業所） 菊池 政義 （北本市老人クラブ連合会）
事務局職員 氏名	課長 西村 昌志 係長 長島 俊介 係長 落合 元 主事 平田 実可
会議次第	１ 開 会 ２ 議 題 （１）地域密着型サービス事業者指定の報告について （２）地域包括支援センター運営状況調査について ①市町村調査について ②センター調査について （３）その他 ３ 閉 会
配布資料	資 料１ 地域密着型サービス事業者指定の報告について 資 料２ 地域包括支援センター運営状況調査（市町村分） 資 料３ 地域包括支援センター運営状況調査（各センター分）

会 議 記 録 （２）

発言者	発言内容・決定事項
	1 開会
	2 議題
議長	会議開催にあたり、前回会議と同様本会議は、北本市情報公開条例 21 条のとおり「公開」とすることで進めさせていただく。
全委員	了承。
議長	議題（１）「地域密着型サービス事業者指定の報告について」、事務局の説明を求める。
事務局	資料 1 に基づき説明
議長	委員の皆様の御質問、御意見を願います。
坂田委員	職員の体制について、非常勤の職員の割合が多い気がするが運営は大丈夫か。
事務局	基準上求められる正規職員数を満たしており、加えて全体の職員数としては、基準を上回って配置されている。
議長	議題（２）「地域包括支援センター運営状況調査について」事務局の説明を求める。
事務局	資料 2 及び資料 3 に基づき説明
畠山委員	前回会議で話に挙がった、地域包括支援センター北本社協の職員体制は大丈夫か。
事務局	保健師が採用となり、3 職種が配置されている状況にある。
馬場委員	全国の平均が高い評価指標で、北本市では実施できていないことはどういふことなのだろうと疑問を感じる。うまく工夫すれば、評価指標を「○」として実施したとしてもよい指標がある。
坂田委員	特に、実施していない指標は今後実施していくにあたり、進行等を管理していく仕組みが必要だと考える。

畠山委員	評価指標で、市がしっかりと把握すべきもの、例えば介護支援専門員の人数等、市が最低限の情報収集等は行っていくべき。
事務局	センターと協議し、業務の中身を精査していくとともに、市で実施可能な指標については実施していく。
石田委員	現場の実務に直接的に影響のある指標、そうでない指標がある。指標をいかに実施していくかということにも留意しながら、センター実務の支援にも目を向けていく必要がある。
畠山委員	国が示した指標で形式的なものもあるかもしれないが、何か聞かれたり、何かあったときに、示せる準備は必要だと考える。
議長	よりよいセンターの運営のために、どの指標を重点的に位置付けていくのか、市がうまく指標を活用することで、センターへの動機づけにもつながると考える。 また、センター職員を交えた意見交換の場を設けて協議することも必要なのではと考える。
馬場委員	例えば、資料２のＱ１１－１については、既にケア会議自体は開催していることから、工夫すれば「○」として実施しているという評価にしても大丈夫なのではないか。
事務局	資料２のＱ１１－１については、センターが作成する事業計画を市と協議したか否かという内容で、書面でのやりとりを残していないことから「×」で協議していないことになっているが、その評価が市の言うことを聞かないという印象にも映る。
議長	市がセンターの運営状況調査をとりまとめているのであれば、市がセンターの実務の実情等を加味して、回答内容についてのアドバイスをしてもよいと考える。
畠山委員	実際の現場で活躍しているセンター職員とセンター業務を受託している法人の代表者との考え方、市とセンターの関係、センター職員とケアマネジャーとの連携等、相違や温度差等いろいろとあると思うが、しっかりと現場を考えて業務を遂行してほしい。
事務局	明日、センター業務受託法人との意見交換を開催予定。そこで本日の意見についても報告する予定。

石田委員	各センターの受託法人の特性を活かした運営を継続していけばいいと考える。春日部市の事例として、各センターで相互に情報連携している仕組みがある。越谷市では、市が直営する地域包括総合支援センターが設置されており、他のセンターの指導的な立場で支援に携わり、機能していると伺った。
坂田委員	前職の経験から、各センターの個別の運営状況は把握しておく必要があり、個別の運営状況を把握しないと、市が何を支援すればよいのか分からなくなってしまう。よりよいセンターへの支援につながるためにも各センターの状況は把握しておく必要がある。
事務局	センターと連携をとりながら、北本市の実情に合わせた運営を心掛けていきたい。
畠山議員	評価指標から、市及びセンターは一生懸命やっていることが見えてきたが、現場の実態としてはどうなっているのか。評価指標では見えてこない、センター職員の実情、センター職員とその他の介護事業所との連携等どうなっているのか気になる。
事務局	高齢者人口の増加に伴い、センター業務のうち介護予防ケアプラン作成等に係る時間の割合が多いという話を聞いている。プラン作成等対象者の家族に要介護認定がありケアマネジャーがついている場合は、居宅介護支援事業所に委託している。また、高齢者支援の関係で、介護支援専門員との連携もしているところ。
根岸委員	台風１９号の影響で、川越市の特別養護老人ホームが水没してしまった事例がある。北本市は高台にあるが、水没時も含め災害の対策等はあるか。
事務局	くらし安全課と連携し、７５歳以上の高齢者等要援護者支援計画を作成し、地域で要援護者を支える体制を整えている。
畠山委員	地域包括支援センターの周知チラシに、市内の他の介護事業所を落とし込むこと等は可能か。
議長	上尾市や都内ではハートページというものがあり、介護情報も掲載されている。
事務局	今後、他自治体の取り組みを参考に検討していく。

議長	議題（３）「その他について」事務局の説明を求める。
事務局	会議記録について、本協議会は附属機関ではないことから、市の会議記録作成要領に基づき、今後は会長の署名なしで、市のホームページ等に公表していきたい。 また、会議記録を公表する前に事前に各委員に確認をお願いしてきたが、市の他の会議は各委員に確認をしていないことやレコーダーで録音し、確認は可能なことから、省略したい。
議長	確認は誰かするのか。
事務局	会長に確認していただく予定。
畠山委員	会議記録の言い回し等の確認もしたいので、できればこれまでとおり公表前の事前確認はしたい。
事務局	今後署名はなしにし、公表前の事前確認は継続していくということでよろしいか。
全委員	了承。
議長	以上で、本日の議事は全て終了。 ３ 閉会
畠山副会長	閉会のあいさつ